

2007年夏季セミナー（第二回）のお知らせ

現在「将来構想」が大きな話題になっています。しかし、「将来構想」は唐突に出てきたわけではなく、すでに40年以上も前からさまざまな将来構想が語られてきました。

その構想はどんなものであったか、なぜ、埋もれてしまったのか。できうる限り、構想の当事者に語っていただき、また、当時の園誌等をテキストに学びたいと思います。

【共催】

ハンセン病市民学会図書資料部会

ハンセン病図書館友の会

【日時】 8月25日（土） 11時開講
8月26日（日） 16時解散

【場所】 多磨全生園内中央集会所

【25日午前】

挨拶とセミナーの趣旨説明

【25日午後】

惰眠論の真実

惰眠論の真実—オカノユキオ（森氏の友人。森氏と同時期に長島愛生園に勤務。『林文雄の生涯』著者）

惰眠論の衝撃—入所者（未定）

【26日午前】

世界医療センターから国際ハンセンセンターへ

松本構想について—田中裕（上智大学教授）

成田構想について—成田稔（多磨全生園名誉園長）

國本構想について—國本衛（多磨全生園入所者。ハンセン病市民学会共同代表）

【26日午後】

討論。

【参加申込】

~~締め切りは7月30日~~とさせていただきます。締切を延長します

住所氏名、電話番号、大学名（学部・学科）、学年、論文・レポートテーマ（仮でも結構です）をお知らせください。あらかじめ希望や質問があれば、明記のうえ下記へお申し込みください。

宿泊費（夕食・朝食込み2,000円）ほか資料費1,000円。

宿泊をご希望の方、また二日目の昼食（弁当）をご希望の方は、その旨、申し込みの際にお伝えください。

【参加申込・問い合わせ先】

藤巻修一（ハンセン病図書館友の会）

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-5 皓星社内

TEL 03-5306-2088 FAX 03-5306-4125

fuji@libro-koseisha.co.jp